

「認知症社会でも安心できるみなかみ町にするための講座」

開催要項

1. 目的 令和6年12月3日に閣議決定された「認知症施策推進基本計画」には、認知症になっても個人としてできること、やりたいことがあり、希望を持って暮らし続けることができるという「新しい認知症観」が示されています。これを受けて令和7年度の高齢者白書には、こうした「新しい認知症観」に立ち、認知症の人や家族の参画を得ながら、地域の多様な関係者が協働し、認知症施策に取り組むことが重要である、と記されています。

当町では既に5人に3人以上が65歳以上を占めており、今後、認知症の人が増えてきます。町民の皆さんがその社会を当たり前のこととして受け止め理解することで、認知症になっても安心して普段の生活ができるようなまちづくりを進めるため、昨年度に引き続き本講座を開催します。

2. 主催 社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会（生活支援体制整備事業）
3. 協力 みなかみ町社会福祉法人等連絡会
4. 講師 駒澤大学文学部社会学科社会福祉学部専攻 教授 荒井 浩道 氏
5. 日時 令和8年8月31日（月）午後1時30分から3時30分
6. 場所 みなかみ町福祉センターのぞみ館 会議室
7. 参加者 一般の町民の方、見守り安心サポーター、地域福祉協力店、認知症サポーター、介護予防サポーター、地域・生活ネットワーク部会委員ほか興味関心のある方及び関係者
8. 参加費 無料
9. 申込み 氏名を下記事務局に電話あるいは申込みフォームで申込み
申込みフォームはこちら <https://forms.gle/FUJ9QRwk3eRdFQa69>
10. 事務局 みなかみ町社会福祉協議会本所
生活支援体制整備事業 担当 佐藤（電話 0278-62-0081）